



コスモス

校訓：支え合い 学び合い たくましく
学校教育目標

「ふるさとを愛し 志をもって
チャレンジする人を育てる」

夏休み前と夏休み後のひまわり！！



夏休みに入る直前と、夏休みの終わりの時期のひまわりの様子です。「あんまり変わっていないなあ。」と思われる方も多いと思います。その通りです。一見、あまり変化がないように見えます。しかし、1か月前には濃い黄色だった花びらが、今はもうほとんど見られません。大きな葉っぱも、少し黄色や茶色になっているように見えます。また、たぶん小鳥たちが啄んだのでしょう。実（種）がかなりなくなっているものもあります。一見変化がなさそうに見えて、実は、確実に変化しているのです。

しかし、変わらなかったこともあります。この暑い暑い夏の間、ひまわりたちは一つ残らず全部、この場所にしっかりと立ち続けました。水やりはタイマーを使って1日2回欠かさずに行いましたし、台風が来なかったという幸運にも恵まれました。しかし、暑さはとても厳しく、私なら1日でダウンしてしまっただと思います。しかし、このひまわりたちはずっと自力で立ち続け、命を引き継ぐ種を実らせたのです。

そして、8月21日の登校日に、さらには、昨日9月1日の始業式の日子どもたちを迎えたのです。ひまわりたちからは、「おはよう。」「久しぶりだね。」「元気そうで安心したよ。」「2学期、無理せずがんばってね。」などの出迎えの言葉が、子どもたちからは、「暑い中、よくがんばったね。」「たくさん種ができたね。」「倒れずに強いね。」などの言葉が贈られたかもしれません。

お互いに再会したばかりですが、ひまわりたちはもうすぐ命を終えます。その際には、このひまわりの種を希望する子どもたちや保護者の皆様にお分けいたします。改めてお知らせしますので、お持ち帰りいただき、また来年そだていただければ幸いです。

去年もたくさん子どもたちがひまわりの種を持ち帰ってくれましたが、お家で大きくそだったのでしょうか？我が家でも、学校のひまわりの種を田んぼに植えました。初めはなかなか大きくならなかったのですが、7月ぐらいからぐんぐん大きくなり、今も雄姿を見せています。花の付き方や大きさはそれぞれで、大きな大輪を一つ咲かせているもの、「いったい何個花を咲かせるの!？」と思えるもの、莖が太くてたくましいもの、8月になってやっと芽が出て成長し、大きなひまわりの足元で、小さいけれどがんばって咲いているものなどなど、それぞれに個性的であり多様です。

8月が終わりましたが、まだまだ暑いで、たくさんの植物たちが、がんばって生きています。花を咲かせ、実を実らせようとがんばっています。

その姿から、たくさんの喜びや発見や感動をえることができます。